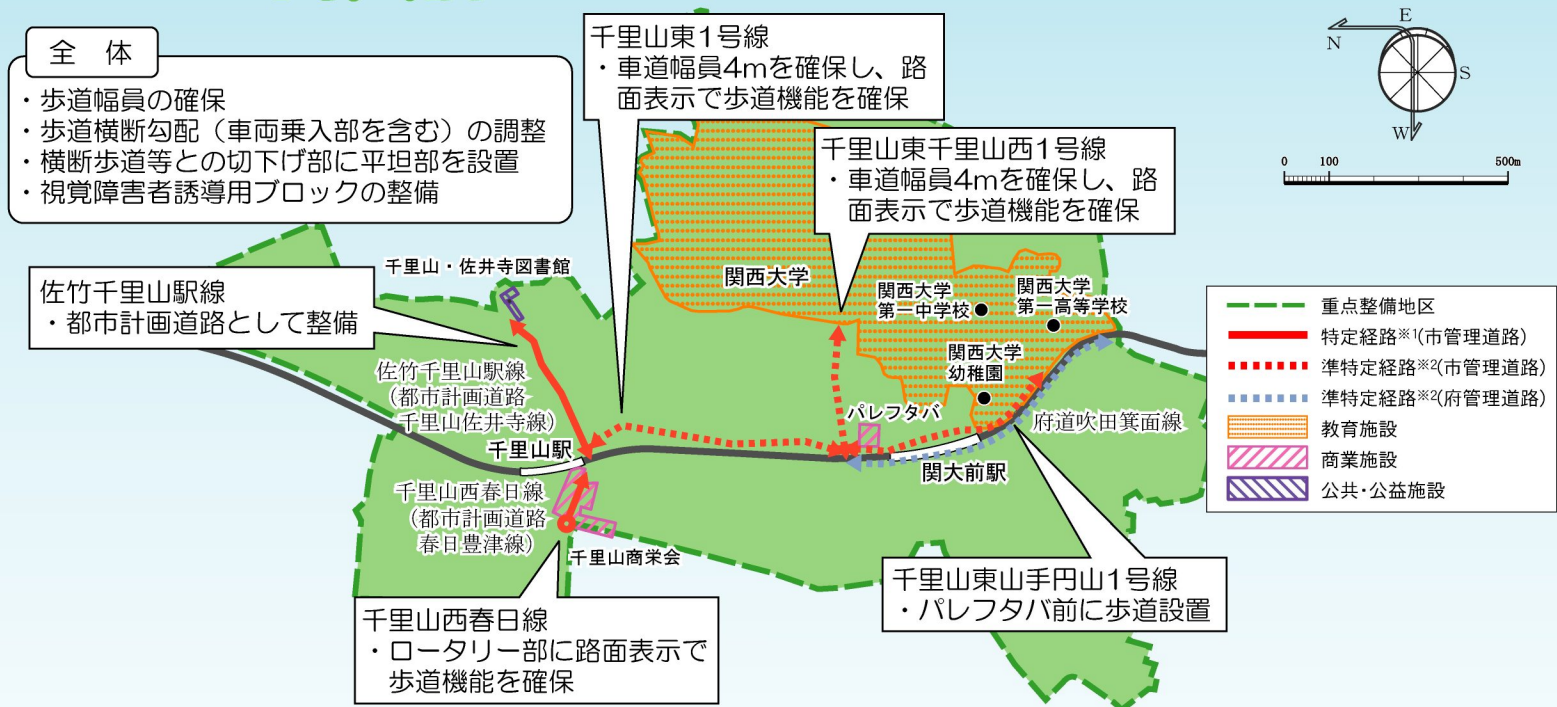


各地区の道路特定事業計画（千里山・関大前地区、南千里地区）

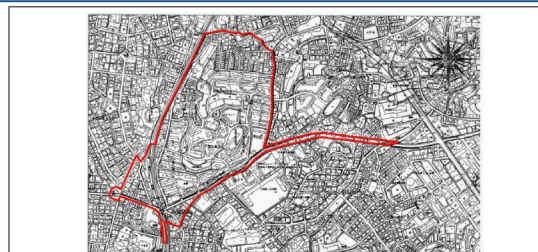
千里山・関大前地区、南千里地区の2地区3駅で、市道の道路特定事業計画を作成しました。
今後はこの事業計画に基づき、だれもが安全で安心して移動できるよう事業実施を進めていきます。

千里山・関大前地区



千里山駅周辺整備事業との連携

千里山駅周辺では、「千里山駅周辺まちづくり懇談会」において千里山駅周辺のまちの将来像の検討が進められています。まちづくりと交通バリアフリーの連携を図りながら、公共交通、歩道、信号等の事業者による一体的なバリアフリー化整備を推進し、より効率的、効果的なバリアフリー化をめざします。



千里山駅周辺まちづくり懇談会（千里山駅周辺整備事業）主な検討範囲

○特徴的な課題

千里山・関大前地区では、歩道幅員の不足、迷惑駐輪などが特徴的な課題となっています。特に、関大前駅周辺は、高齢者などに対する配慮が十分ではなく、また学生が多数集まることによる駅舎・道路の混雑、大学前通りの歩行者・自動車動線の交錯、迷惑駐輪など、交通環境の改善が大きな課題となっています。

○特徴的な整備方針

千里山・関大前地区の道路については、全面的に拡幅し歩道設置することが望ましいです。しかし、歩道拡幅には、かなりの工事期間と費用を要するため、路面表示（カラー舗装）により、歩道機能を確保することとしています。

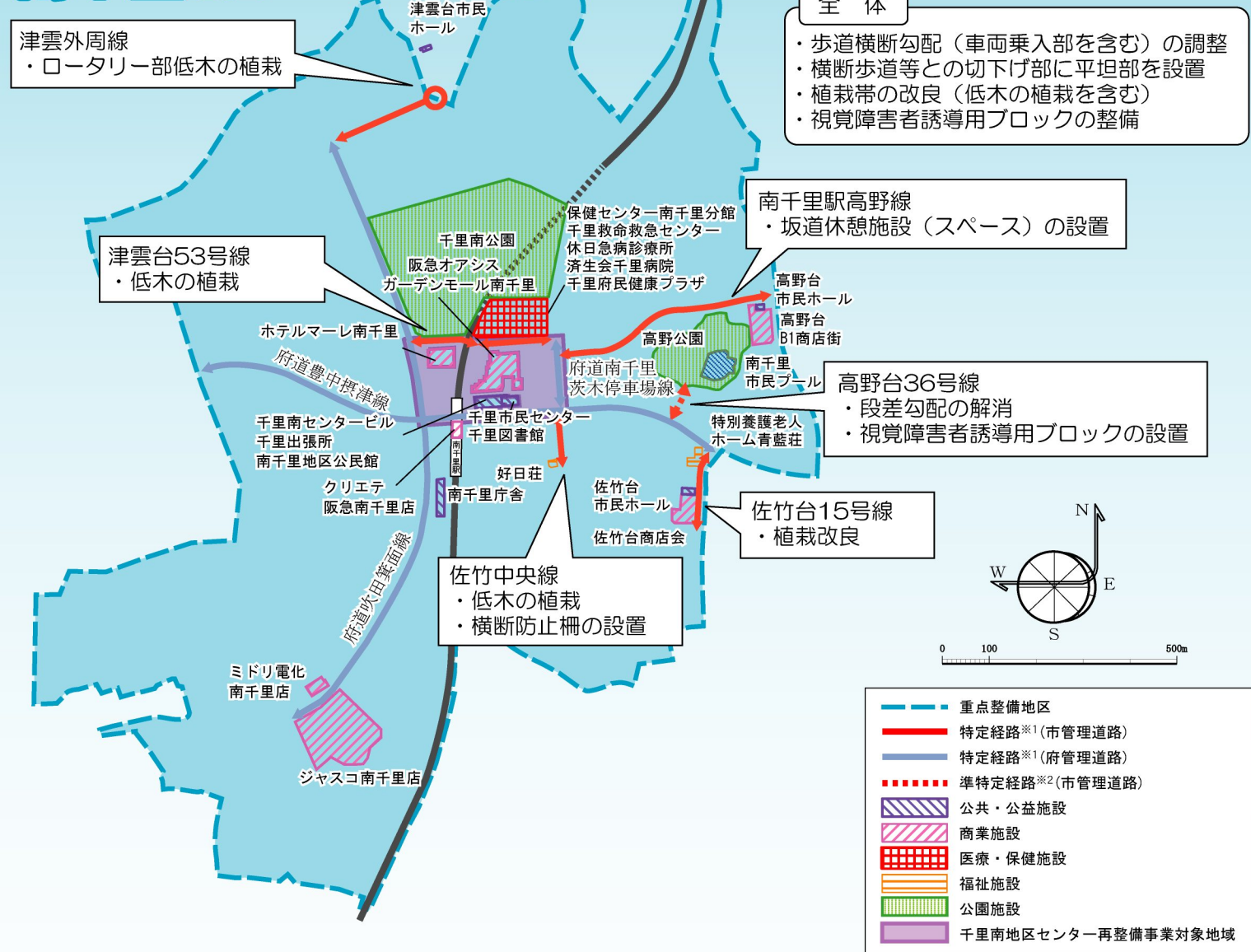


▲現況イメージ
(千里山・関大前地区：千里山東千里山西1号線)



▲整備イメージ
(千里山・関大前地区：佐竹千里山駅線)

南千里地区



○特徴的な課題

南千里地区では、丘陵地に位置するため、歩道の縦断勾配が急なことが大きなバリアとなっているのが特徴的な課題です。特に南千里駅高野線については、基準の特例値である8%に近い勾配が連続している箇所があり、大きな課題といえます。

○特徴的な整備方針

南千里駅高野線については、既設の歩道の縦断勾配を緩くすることが難しいため、休憩施設の設置を行います。



▲現況イメージ
(南千里地区：南千里駅高野線)



▲整備イメージ
(吹田・豊津地区：朝日が丘片山線)

千里南地区センター再整備事業との連携

南千里駅周辺では、「南千里駅周辺まちづくり懇談会」において、千里南地区センターの再整備計画の具体化が検討されました。効率的、効果的に事業を進めるため、千里南地区センター再整備事業と連携を図ります。